

川崎スポーツ



12月3日(日)4日(月)5日(火)

Kドリームス杯 神奈川新聞社杯争奪戦

FII

戦力充実の南関ライン

12月3日から開催されるKドリームス杯、神奈川新聞社杯はF2開催で、ガールズケイリンも含めた12レースで行われる。

1、2班戦は南関ラインが強力。福田知也(神奈川88期)を中心に、機動型も豊富に揃って戦力が充実している。森川剛(神奈川89期)や三住博昭(神奈川61期)に、期待の若手佐々木龍(神奈川109期)まで揃い、優勝候補と呼べる主力が4人揃ううえに、千葉の豪脚遠藤雅也(千葉100期)も参戦するので南関勢は盤石の布陣と言っている。それに対して東北勢からは緑川修平(福島95期)、関東勢からは今泉薫(群馬89期)が持ち味発揮するレースできれば十分に對抗できるはず。

チャレンジ戦は期待のルーキーが3人揃う。格清洋介(静岡111期)、小林裕一郎(千葉111期)、菱沼元樹(埼玉111期)が積極的な走りで開催を盛り上げる。

ガールズケイリンは実績上位の梶田舞を中心に、新鋭レーサーがどこまで善戦できるかの争いとなる。

A級注目選手 福田 知也 神奈川・88期



強力な南関ラインの中心には福田知也。時はスランプに苦しみ今期はA級に降級したが、このクラスでは格上の存在感がある。番手を回ればきつ

り仕事をこなし、目標不在なら自力を出すことも惜しまない。層の厚い南関勢だが、この人が中軸となるだろう。

森川剛もS級で鳴らした実力者。福田と同様に、位置が無ければ自分で動く脚力があるし、まだ未経験の地元優勝目指して全力を尽くす。三住博昭は49歳となった現在でも展開次第でまくりを出しているし、持ち味の夕テ脚はいまでも健在。優勝狙える実力者。

南関勢は機動型も充実。佐々木龍は予選スタートとなるが初のS昇級の権利を得る目前。今期をこのまま順調に消化すれば来年後期はS昇級する可能性が高い。遠藤雅也も持ち味の積極的な先行勝負で地元ラインを盛り立てる。迷いの無い切り切り仕掛けは、追い込み選手からの信頼が厚く、別線の自力型を脅かす存在でもある。

庄子 信弘 宮城・84期



強力な南関ラインに待ったをかけるのが東北勢。とくに注目したいのが庄子信弘。今年の前期はA3でチャレンジ戦を走ることとなったが、目覚ましい活躍で6月のレインボークップで特昇班を決めて1、2班に返り咲く。昇班直後の2戦目で優勝を飾った。動いてさばける自在な走りがこの人の魅力。緑川修平と共に勝ち上がりようなら番手の援護もきつちりこなすので、東北ライン浮上の鍵を握るのはこの人の活躍次第と言っても過言ではない。関東ラインの軸は今泉薫。この川崎バンクでの活躍が目立つ選手だ。記憶に新しいところでは、6月当所に参戦し

た時は3日間バックを奪つてのオール連対。力強い走りを見せた。原田泰志も当所を得意としている印象。鋭いまくりが持ち味で、抜群のダッシュスピード生かした仕掛けに注目したい。齋藤和伸(埼玉91)や矢島一弥(群馬92期)らと好連係を決めれば関東勢に浮上の目も十分にあるだろう。

CR注目選手 格清 洋介 静岡・111期



チャレンジ戦での注目選手は格清洋介。ひたすら先行に徹することで今シリーズの参加選手の中でバック数はトップクラス。結果以上に内容良く走れている印象があるし、着々と持ち味の地脚に磨きをかけている。今後の成長に期待がかかる注目ルーキーだ。

小林裕一郎は裕司(71期)を父に持ち、叔父の大能も87期と競輪に近い所で育つた3歳の新人。まだまだ不安定な部分もあるが、既に優勝も果たしており高い素質の片鱗は見せている。とくに今シリーズは南関勢の参加が多く、貴重な戦力として期待がかかる。前節にヒットを飛ばした菱沼元樹は勢いに乗ってここへ参戦する。先行とまくり2発で大垣は完全V。自信を付けた今回の走りに注目が集まる。

北日本勢は新人の参加が無いが、積極先行が魅力の数下直輝(北海道95期)に、真船拓磨(福島96期)や関根崇人(福島94期)らは、展開ひとつで優勝を狙える実力がある。

ガールズ注目選手 梶田 舞 栃木・104期



今年もガールズケイリンの頂上決戦であるGPに参加する梶田舞が今シリーズの中心になるだろう。この時期だけに、練習による疲労が心配されるところだが、実績と経験値は他を圧倒している。GP向けの準備で疲労があったとしてもこの人の存在は大きい。それに、梶田はこのバンクでは実績がある。昨年当所で行われたサマーナイトフェスティバルで、児玉碧衣(108期)の豪快なまくりを差し切つて優勝を果たしている。直線伸びるこのバンクでは梶田のキレ鋭い差し、まくりが若手の台頭でますます激しくなるガールズケイリンだが、ここ一番の勝負強さと経験値では梶田が一枚も二枚も上。今シリーズも110期、112期に強力な相手が多いが、その抵抗を跳ねのけて年末のガールズGPに弾みをつけたいところ。

大久保 花梨 福岡・112期



今期デビューした大久保花梨は高校時代に自転車競技で実績を残している本格派。小林優香(福岡106期)、児玉碧衣らを育て上げた藤田剣次(福岡85期)を師事して輪界入り。着々と力をつけており、既に2度の優勝を果たしている。スピード、持久力は上位選手と渡り合えるし、今後の更なる成長が楽しみな大物ルーキーだ。

他にも楽しみな選手は多い。流れを見極めて堅実なマーク戦を続ける東口純(石川108期)は安定した走りをしていり、展開に応じて逃げ、まくり、追い込みと何でも器用にこなす亀川史華(兵庫110期)も優勝戦線に食い込んでくる実力がある。落車しないケガで苦戦した時期が続いた野口のぞみ(長崎110期)だが、ここ数場所は自力基本に優出を続けているし、実績ある上位の相手でも力勝負で善戦できるだけのパワーの持ち主。

URBAN BANK かわさきケイリン

Kドリームス杯・神奈川新聞社杯 決勝想定メンバー		予想氏名		予選4月成績	
○	×	▲	◎	◎	◎
原田 泰志	佐々木 龍	遠藤 雅也	庄子 信弘	森川 剛	鎌田 聡
新潟	神奈川	千葉	宮城	神奈川	宮城
91	109	100	84	89	81
A1	A2	A1	A2	A1	A1
3回	8回	8回	11回	10回	10回
9回	7回	5回	2回	7回	5回
1回	4回	4回	4回	2回	3回
14回	5回	10回	10回	14回	11回
0回	0回	0回	0回	0回	0回
0回	0回	0回	0回	0回	0回
27回	24回	27回	27回	33回	23回
11.1%	33.3%	29.6%	40.7%	30.3%	13.0%
44.4%	62.5%	48.1%	51.5%	34.7%	50.0%
48.1%	79.1%	62.9%	62.9%	57.5%	47.8%
4回	10回	16回	4回	1回	0回
3回	10回	17回	7回	1回	0回
92.44	93.25	93.37	92.0	92.45	91.59